

令和3年度 尾鷲市沿岸に來遊するイセエビのプエルルス幼生および稚エビ採集調査報告書

2021年11月

尾鷲市水産農林課

方法

昨年度と同様、コレクター（改良C型）を設置し、調査日間の間隔が7日以上空かないように、原則週1回以上の頻度で調査を行った。

設置場所については、早田漁港は昨年同様、堤防の灯台付近に設置し、加えて今年度は新たに三木浦漁港奥の船溜まりに設置した。いずれも干潮時に干出しない深さに岸壁に吊り下げた。

調査の手順は、1m×1mの塩ビパイプ製方形枠にネットを取り付けた落としダモで下からコレクターを掬いながら引き上げ、パンに海水を張り、その上でコレクターを強く振って、付着している生物を脱落させた。パンに脱落した生物を海水ごと1mm目合いのザルで濾し、白色のバットに移して画像に記録したのち、すみやかに再放流した。



稚エビ（左、中央）とプエルルス（右）



三木浦漁港設置風景

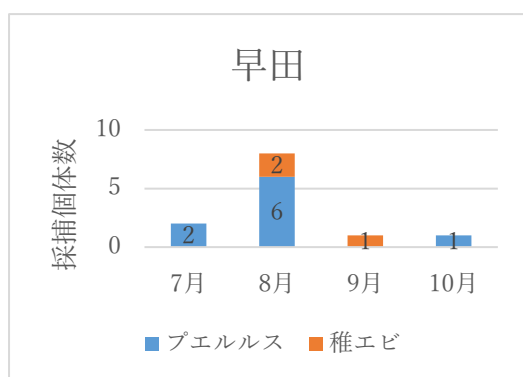
結果と考察

7月7日から11月2日まで、合計18回の調査を行った。イセエビのプエルルス幼生は早田で9個体、三木浦で9個体であった。稚エビは早田で3個体、三木浦で8個体であった。月別の採捕数は、両地点でプエルルス、稚エビともに8月が最多であった。

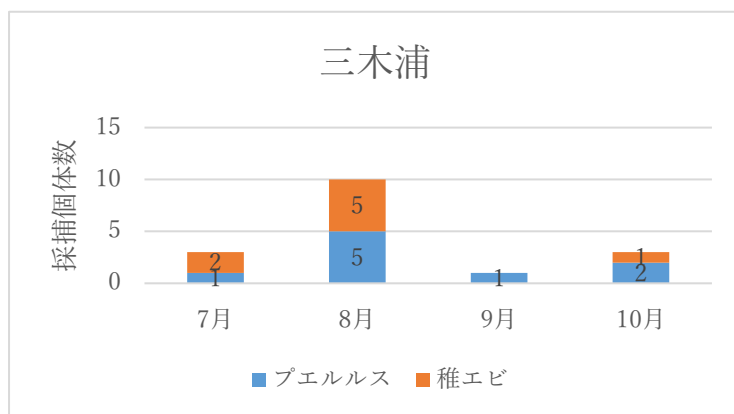
イセエビの他は、ハタ類やベラ類、アイゴなどの稚魚、カイアシ類や小型のエビ、ゴンズイ、巻貝類などが採捕された。三木浦ではガンガゼや甲幅約5cmのベニイシガニ、ベニツケガニがしばしば採捕された。

昨年度は早田のみで調査を行い、7月に3個体の採捕のみであったのに対し、今年度は早田でプエルルス9個体、稚エビ3個体の合計12個体の採捕が得られた。

今後も調査を継続し、将来的には、プエルルス及び稚エビの採捕数と水温、藻場などの環境条件、市場の水揚げ量などとの相関を調べていきたい。



7 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ
6	1	0	3	2	0	7	0	1	5	1	0	2	0	0
13	1	0	10	0	0	14	0	0	12	0	0			
21	0	0	17	3	1	21	0	0	19	0	0			
26	0	0	24	1	0	27	0	0	26	0	0			
			31	0	1									
計	2	0		6	2		0	1		1	0		0	0



7 月			8 月			9 月			10 月			11 月		
日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	日	プエル ルス	稚エビ	月	プエル ルス	稚エビ
6	1	0	3	1	0	7	0	0	5	2	0	2	0	0
13	0	1	10	3	1	14	1	0	12	0	1			
21	0	1	17	1	2	21	0	0	19	0	0			
26	0	0	24	0	2	27	0	0	26	0	0			
			31	0	0									
計	1	2		5	5		1	0		2	1		0	0

